

建築物等定期調査業務仕様書（別紙 2）

1 業務内容

（1）定期調査の結果を基に、別紙様式「是正指摘事項一覧」を作成すること

（2）各是正指摘事項毎に以下の基準で順位付すること

- A 施設の利用にあたり著しい劣化や法令既存不適格などにより、違反又は著しく保安上危険である、また、施設休業になるなどの可能性が高く、早急に是正する必要がある事項
- B 緊急性はそこまで高くないものの、非常時の安全確保に支障をきたす、また、これ以上劣化が進むとAになる可能性が高い事項
- C 安全性や施設維持において重大な支障をきたすものではない小破等で、緊急性の低い事項

（3）是正方法について推奨されるものを以下より選択すること

- | | |
|-------|---|
| 大規模改修 | 想定金額が 1 億円以上の可能性が高い、1 年以上の工期を要する、数工種に渡り施工が必要・または同時に行うべき(足場含む)、別途設計が必要 |
| 中規模改修 | 想定金額が 1 億円以下、想定工期が 1 年以内、単独工種または他工種の割合が低い、別途設計が必要 |
| 小規模改修 | 想定金額が 3,000 万円以下、想定工期が半年程度、単独工種、場合によって設計が必要 |
| 修繕 | 想定金額が 200 万円以下、工事とする必要が無い |
| その他 | 清掃や一般的なホームセンター等で購入可能なものの交換で改善可能 |

（4）是正方法推奨項目が小規模改修、修繕に該当したものについて専門業者より見積りを徴取し添付すること

見積り宛先は五所川原市教育委員会 教育長(教育総務課)とすること

（5）是正指摘事項の箇所、状況等について定期調査資料で不足がある場合は、適宜、図面、写真等を追加、添付すること

2 一覧の提出

（1）是正指摘事項一覧、見積書、図面、写真、その他の順にひとまとめにし、左上をホチキス止めすること

（2）提出部数 1 部

3 その他

その他については委託者及び受託者で協議するものとする